

2016年3月議会が、2月25日から3月18日まで開かれました。主なことを報告します。

## 高校生までの医療費軽減

(3割負担から1割負担に) **が実現!**



3年前の公約が実現できました。高校生までの医療費の無料化の実現に向け、日本共産党の赤磐市委員会が予算要求し、福木議員が一般質問で、中学卒業までの無料化を守り、さらに高校生までの医療費の無料化を要求していました。(婚姻している者は除く)

完全な無料化ではなく、1割負担は残りましたが、安心して病院にかかれます。

ただし、償還払いなので、いったん3割を払い、保護者の申請により2割が戻ってきます。引き続いて無料化を要求し、窓口無料を実現させていきます。(予算は約1200万円増)

医療費無料化の推移		
実施期間	対象者	補助割合
2005年3月～06年9月	就学前まで	全額補助
06年10月～09年6月	小学3年生まで	就学前・・・全額補助 小学生・・・1割自己負担
09年7月～11月	小学6年生まで	就学前・・・全額補助 小学生・・・1割自己負担
09年12月～	中学3年生まで	全額補助
16年4月～	高校3年生まで	中学生まで・・・全額補助 高校生・・・1割自己負担

## 小学5・6年生の35人以下学級は 市費で引き続き実施! (他の学年は県費で対応)

平成28年度は、山陽東小学校と山陽北小学校が1クラス35人を越えます。そこで35人以下学級にするため、市費の先生3名が予算化されました。(東小に2名、北小に1名)

## 福木議員の4点の一般質問



### ①山陽団地の活性化の将来の見通しは

#### (質問)

3年前の選挙後、山陽団地の有志の方々が、早く山陽団地の活性化策に取りかかってほしいと要望されている。2月1日現在で2381世帯、5249人の大型団地であり、中心地をどうするのか検討してほしい、買い物が不便、若者に来てほしいなど共通の思いを持っている。将来の見通しをどう思っているのか。

#### (市長答弁)

旧ショッピング跡地は、民間所有なので難しい。総合計画に定めてあるように、経済・産業に活力があり、人が集まるまち創りを進める中で、山陽団地の活性化を目指していく。

### ②桜が丘の中央交差点の周辺の安全対策を

#### (質問)

住民の要望が実現されて良かった反面、大きな交差点になった。高齢者の方の買い物や子どもたちの通学路にもなっている。交通量も多く細心の安全策をすべきだ。

#### (市長答弁)

今回右レーンを設置し、直進車が安全に走行出来るようになった。4コーナーにポストコーンを設置。夜間にライトが当たると光るロードマーカを配置し、運転者の視線誘導を行う安全施設がある。現場も検証し住民の声も県に伝える。

### ③太陽光パネル設置で、景観や防災面は

#### (質問)

高倉山に大きな太陽光パネルの設置がされると聞くが、景観や防災面は大丈夫か

#### (市長答弁)

高倉山では民間業者による設置計画がある。約2、5ヘクタールに、約2メガワットの計画。全国的には景観上規制条例の制定もある。防災面に対しては特別にないが、それぞれのケースによって、ある程度の規制はかかっていると考えている。

## ④赤磐市職員の雇用問題

### 臨時職員から正職員にすべき

#### (質問)

赤坂の3保育園が、来年は1つになるが、保育士の雇用はどうなるのか。マスコミなどで、保育士の悪い雇用状況が取り上げられていたが、赤磐市でも臨時職員の割合が多い。専門性の高い保育士さんは子どもの命を預かっている職業なので、正職員にすべきだ。

#### (市長答弁)

臨時保育士も現状程度の人数が必要。確保が難しいことから、近隣の町村並みに処遇改善を予定している。



---

\*平成28年度の新規事業の一部をお知らせします。

### 保育料が第3子以降無料に（所得制限あり）（市制度）

### 多子世帯・ひとり親世帯等の保育料負担の軽減（国制度）

- (1) 多子世帯は、年収360万円未満相当の世帯で、年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無償化する。（赤磐市の対象児童75人）
- (2) 一人親世帯等は、年収360万円未満相当の世帯で優遇措置を拡充し、第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無償化する。（赤磐市の対象児童40人）

### 岡山県第3子以降保育料無償化事業（県制度）

現に扶養する子が3人以上いる世帯の保育施設に通う第3子以降の3歳児未満時の保育料を無償化。

- ・世帯所得制限はなし
  - ・第1子の年齢制限なし
  - （赤磐市の対象児童77人）
- （\*赤磐市は補正予算で対応予定）

---

### 赤磐市高齢者買い物支援・見守り事業

買い物支援・高齢者の見守り・話し相手・困りごと相談等を行う事業。

対象者は、満65歳以上の人のみで構成される世帯の人で、赤磐市に住所・居住する人で、市が発行する利用対象者証明書の交付を受けた人。申請提出先：熊山の小野田ふれあい市場（090-7133）、吉井のまちづくり夢百姓（086-958-9008）

# 市議会が2分した

## 問題点は

**\* 映画製作にかかる製作協力  
に関する調査特別委員会（百条**

**委員会)の廃止を求める動議が提出され、可決される！**



3月18日の本会議最終日、百条委員会の中間報告がされるとすぐに、百条委員会の廃止を求める決議の動議が、岡崎議員から提出され、賛成多数で可決されました。動議の理由は、委員会での調査はほぼ終わり、これ以上調査を続けることは無用の混乱を招くことになりかねないとのことです。

百条委員会は、これまで正副委員長を中心に、進め方も委員に相談しながら慎重に進行。中間報告によると、3月14日の第5回目の委員会において、エネット（映画制作会社）からの回答書について協議。委員より調査もほぼ終わっているから、結論を出すべきと採決を求める意見と、裏付けが取れていないなどの意見も出され、委員長判断で見送っています。今後4月に取りまとめの調整をした上で、最終報告書を出す予定でした。

これまでの民主的なやり方を一気に壊して、廃止に持っていったのは、なぜか疑問が残ります。3月30日には議長総括文書が作成され、3月31日には、市長談話も出ています。

福木議員は、突然の廃止の動議には反対しました。あくまで、百条委員会で民主的に議論して結論にもっていくべきです。

**\* 吉井中学校のプール改築工事費（3879万円の設計監理委託料など）の予算削減の動議が提出され、可決される！**

合併時からこれまで、吉井中学校では、すぐ近くにあるB&G海洋センターを使う方針が出ています。今回、予算化されるにあたり、180度の方向転換になるので、担当委員会には十分な資料や説明がされなければなりません。ところが、十分な説明がされないままに予算化されたので、吉井地域の地元では、もっと総合的に検討の余地があるとして疑問の声が上がっていました。福木議員は、本来なら教育予算の充実のため賛成すべきですが、担当委員会にも十分な説明がされず、地元で疑問が出されている中では判断が出来ないとして、予算削減の動議に賛成しました。

